

# 火山砂防事業（概要）

北海道には、気象庁の常時観測火山が9火山あるほか、噴火に伴う火砕流や降雨時に発生する土石流などの土砂災害が発生しやすい火山地域が広く分しています。また、火山活動に伴う土砂災害としては、2000年(平成12年)の有珠山噴火の熱泥流や、北海道駒ヶ岳の降雨による土石流があげられます。こうしたことから、有珠山では平成19年度までに砂防堰堤や遊砂地の整備を図ったほか、北海道駒ヶ岳・十勝岳では、噴火による融雪型火山泥流に備えた砂防堰堤などの整備や、火山地域における降雨による土石流に備えた砂防関係施設の整備を推進しています。

■ オチウシナイ川2号砂防堰堤（利尻富士町）



■ 西山川砂防堰堤（有珠山）（洞爺湖町）



■ 砂原町工区泥流調整地（北海道駒ヶ岳）（森町）



■ ペレケ川2号堰堤（斜里町）



■ 富良野川2号透過型堰堤（十勝岳）（上富良野町）

